

Windows8.1 版

インターネット接続のための DNS 設定マニュアル 《ルータ設定不可の場合の回避方法》

はじめに

本来、インターネットの出入り口となるルータ側で一括して「DNS を自動取得」の設定を行うことが望ましいのですが、ルータにログイン出来ない等の理由で設定確認・変更が困難な場合は、パソコン側で新 DNS サーバの IP アドレスを手動設定し、DNS サーバの停止によるトラブルを事前に予防することが出来ます。

(ルータの設定情報よりもパソコン側で手動設定された DNS サーバを優先参照するためです。)

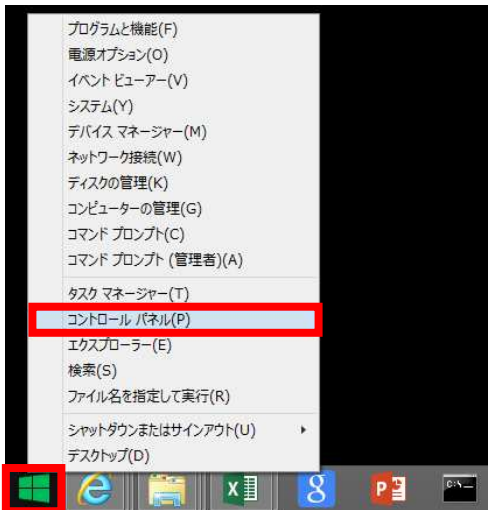
※同一ネットワーク内の全パソコンに必要な作業です。

利用停止 DNS サーバ : **210.224.163.3**

利用停止 DNS サーバ : **210.224.163.4**

設定画面の表示

- ① ディスクリップの左下の“スタート” ボタンを右クリックし、“コントロールパネル” をクリックします。



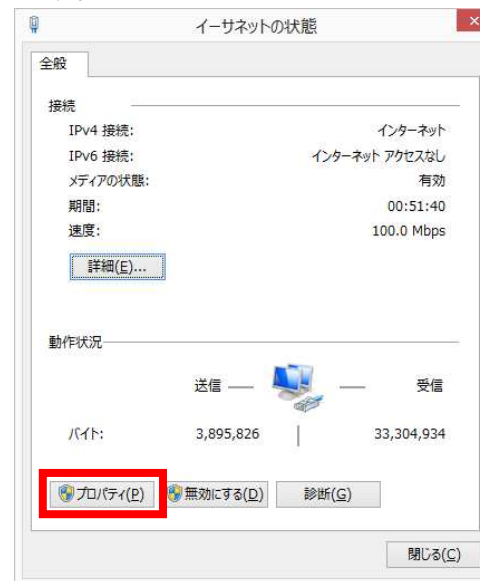
- ② “ネットワークの状態とタスクの表示” をクリックします。



- ③ “イーサネット” をクリックします。



- ④ イーサネットの状態画面の“プロパティ” をクリックします。

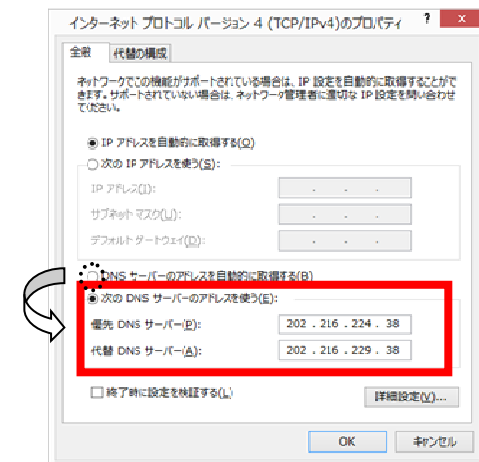


- ⑤ “インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)” を選択した状態で、“プロパティ” をクリックします。



DNS 設定の変更

- ⑥ “DNS サーバのアドレスを自動的に..” にチェックが入っている場合は“次の DNS サーバのアドレスを..” にチェックを切换え、新 DNS サーバのアドレスを入力します。
新 DNS サーバ : **202.216.224.38**
新 DNS サーバ : **202.216.229.38**



入力後、“OK” をクリックすると、設定は完了です。